

# 令和6年度 第3回 幌延深地層研究の確認会議 説明資料

令和6年8月26日

日本原子力研究開発機構  
幌延深地層研究センター

# 幌延国際共同プロジェクトのフェーズ2(令和7年度～令和10年度) に向けた今後の手続き



- 6/6に実施された第3回管理委員会にて、フェーズ2の実施に向けた今後の手続き等の工程を確認(下表)。

	令和6年 6月	9月	12月	令和7年 1月	3月	4月 ～
管理委員会	▼第3回管理委員会 (6/6@幌延、オンライン併用) フェーズ2実施に向けた工程確認	▲	第4回管理委員会 (9/24、オンライン) 参加意思の確認		第5回管理委員会 (3月上旬、オンライン) フェーズ2実施の承認	
JAEAや参加 機関の動き	令和6年度末までに得られる成果見込みと令和7年度以降4年間の研究計画・工程の調整・確認		各参加機関がフェーズ2実施に向けた事務手続きを実施			フェーズ2の研究開発

- ▶ 9月に開催予定の第4回管理委員会にて、令和6年度までに得られる成果見込みと令和7年度以降の4年間の研究計画・工程について説明し、参加意思を確認。
- ▶ 第4回管理委員会以降、参加意思を示した機関がフェーズ2実施に向け、各機関において必要な事務手続きを実施。
- ▶ 3月に開催予定の第5回管理委員会で、参加意思を示した全機関の承認を経て、令和7年4月からフェーズ2として各タスクの研究開発を実施。

# 幌延国際共同プロジェクト(HIP)の研究期間とフェーズ2の実施等について

- **HIPの研究期間**：「令和2年度以降の幌延深地層研究計画」に沿って、当初から令和10年度までの研究期間を設定。

•令和4年度第3回確認会議「資料2-2」；【p.3 幌延町12】 【p.18 道民17-6】 【p.18 道民23-14】にて回答  
 •令和5年度第1回確認会議「資料4」；【宗谷総合振興局1】にて回答

- **フェーズ1・フェーズ2の研究期間**：OECD/NEAが実施するプロジェクトは基本的に3年あるいは4年の期間で行われることが慣例のため、それに合わせて令和10年度までの研究期間を前半3年間（令和4年度～令和6年度：フェーズ1）と後半4年間（令和7年度～令和10年度：フェーズ2）に分割。

•令和4年度第3回確認会議「資料2-2」；【p.18 更問道(第2回)】 【p.19 道民32-2】にて回答  
 •令和6年度第1回確認会議「資料4」；【p.15 道13】にて回答

- **フェーズ2実施の際の手続き**：令和6年3月に開催した第2回管理委員会において、事務局のOECD/NEAから、フェーズ2を実施する場合においても、放射性廃棄物を持ち込まない、NUMOに研究所を貸与しないといった協定書に記載の条項は変更されない旨説明され確認された。

•令和6年度第1回確認会議「資料4」；【p.15 道13】にて回答

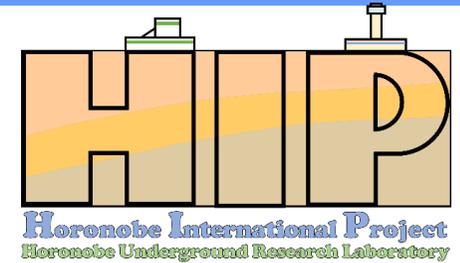
- **HIPの研究内容**：「令和2年度以降の幌延深地層研究計画」の範囲内で研究を行うこととしており、フェーズ1・フェーズ2ともにタスクA（物質移行試験）、タスクB（処分技術の実証と体系化）、タスクC（実規模の人工バリアシステム解体試験）の3つの課題を設定。これらは協定書にも記載。

•令和4年度第4回確認会議「資料1」；【p.7 ④プロジェクトの研究内容】

- **新規参入の手続き**：事務局であるOECD/NEAとの調整を踏まえ、管理委員会の全会一致の承認を経たうえで協定書の署名欄に署名を完了した段階で参入することとなる。

•令和6年度第1回確認会議「資料4」；【p.15 道13】にて一部回答

## 令和6年度の実績（7月末現在）



- 管理委員会
  - 第3回管理委員会（R6.6.6：幌延開催・オンライン併用）
- 現地タスク会合
  - 合同タスク会合：BGE、BGS、CRIEPI、JAEA、KAERI、NUMO、OECD/NEA、RWMC（R6.6.5-7）  
（オンライン併用 オンラインのみでの参加：CSIRO、ITRI、RATEN、SERAW）
  - タスクA会合：JAEA、NUMO（R6.5.22-23）
  - タスクC会合：JAEA、NUMO（R6.5.14-16）
- その他のタスク会合
  - タスクA会合：BGE、BGS、ITRI、JAEA、KAERI、NUMO、RATEN（R6.7.3：オンライン）
  - タスクB会合：JAEA、KAERI（R6.5.27：韓国）

BGE：連邦放射性廃棄物機関（ドイツ）  
 BGS：英国地質調査所  
 CRIEPI：電力中央研究所  
 CSIRO：オーストラリア連邦科学産業研究機構  
 ITRI：工業技術研究院（台湾）  
 KAERI：韓国原子力研究所  
 NUMO：原子力発電環境整備機構  
 OECD/NEA：経済協力開発機構／原子力機関  
 RATEN：原子力テクノロジー国営会社（ルーマニア）  
 RWMC：原子力環境整備促進・資金管理センター  
 SERAW：国営放射性廃棄物会社（ブルガリア）



参加者集合写真



研究進捗の報告

合同タスク会合（R6.6.5-7 幌延開催）



試験現場の確認